

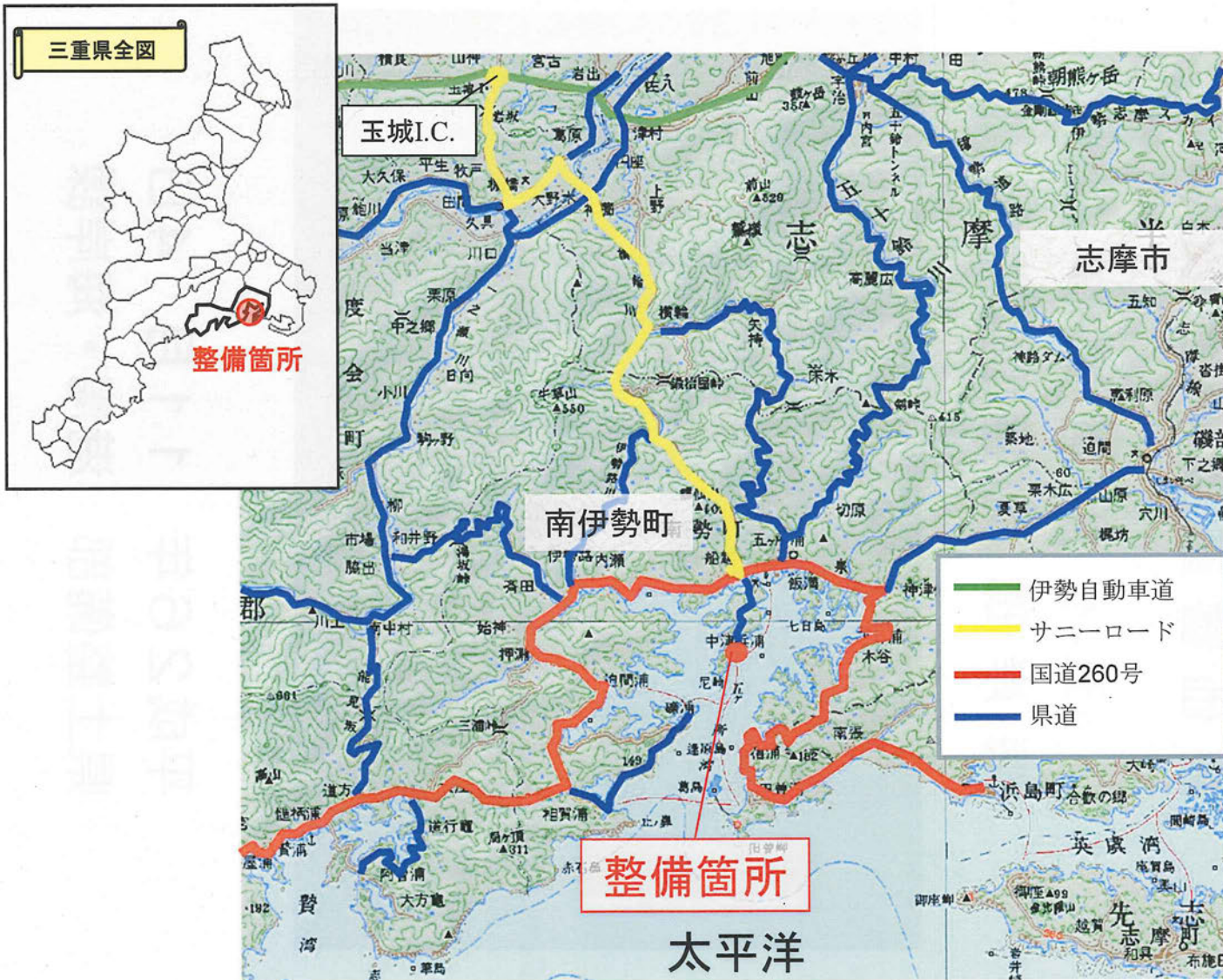
事後評価書

箇所名	五ヶ所港海岸 中津浜浦地区		事業名	海岸環境整備事業	課名	港湾・海岸課																																
事業概要	工期 (下段前回)*	平成8年度～平成22年度	全体事業費 (下段前回)*	1,405 百万円 (負担率: 国1/3: 県: 2/3)																																		
		平成8年度～平成21年度		1,474 百万円 (負担率: 国1/3: 県: 2/3)																																		
事業目的及び内容		<p><b>【事業目的】</b>                      五ヶ所港中津浜浦地区は、伊勢の南玄関と言われる南伊勢町(旧南勢町)の五ヶ所湾の中央部に位置しており、海と山とを結んだ奥志摩地域の海洋性リゾートとして、今後の発展が期待されています。しかし、南伊勢町には海水浴に適した浜が存在しなかったことから、本事業により海水浴を楽しむ事ができる人工海浜を整備することにより、五ヶ所港周辺のレクリエーション施設等と共に総合的なレクリエーション機能が発揮され、周辺地域の振興・発展に寄与することを目的として事業を実施しました。また、地域行事などが開催される、地元の憩いの場としての利活用を期待していました。</p> <p>総事業費は1,405(百万円)で下記の通りです。</p>																																				
		内容(事業量)	事業費 (百万円)	内容(事業量)	事業費 (百万円)																																	
		護岸(L=320m)	309	突堤2基(L=245m)	363																																	
		潜堤(L=163m)	140	人工海浜(42,020m <sup>3</sup> )	300																																	
		遊歩道(L=320m)	252	植栽(1,660m <sup>2</sup> )	3																																	
その他(便所・更衣室)	38																																					
1・事業の効果		<p>・海浜公園として整備されたことから、背後地から海岸へのアクセス性が向上した。</p> <p>・海水浴場がなかった南伊勢町内に海水浴を楽しむことができる人工海浜が創出され、海水浴シーズンには約700人の方が海水浴に訪れるようになり、海浜公園には年間約5000人の利用者が訪れるようになった。</p> <p>・中津浜浦海浜公園の駐車場や広場は、地域行事の盆踊り等の会場や関西の小学校の体験学習等を兼ねた修学旅行のコースの一つとして利用されている。</p> <p>費用便益分析結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th></th> <th>前回再評価時 (基準年平成17年)</th> <th>今回事後評価時 (基準年平成26年)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">費用</td> <td>事業費</td> <td>1,440 百万円</td> <td>2,205 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>76 百万円</td> <td>33 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,516 百万円</td> <td>2,238 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効果</td> <td>利用便益</td> <td>2,699 百万円</td> <td>2,629 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,699 百万円</td> <td>2,629 百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益分析結果(B/C)</td> <td>1.78</td> <td>1.18</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分		前回再評価時 (基準年平成17年)	今回事後評価時 (基準年平成26年)	備考	費用	事業費	1,440 百万円	2,205 百万円		維持管理費	76 百万円	33 百万円		合計	1,516 百万円	2,238 百万円		効果	利用便益	2,699 百万円	2,629 百万円		合計	2,699 百万円	2,629 百万円		費用便益分析結果(B/C)		1.78	1.18	
区分		前回再評価時 (基準年平成17年)	今回事後評価時 (基準年平成26年)	備考																																		
費用	事業費	1,440 百万円	2,205 百万円																																			
	維持管理費	76 百万円	33 百万円																																			
	合計	1,516 百万円	2,238 百万円																																			
効果	利用便益	2,699 百万円	2,629 百万円																																			
	合計	2,699 百万円	2,629 百万円																																			
費用便益分析結果(B/C)		1.78	1.18																																			
2・事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化		<p>・養浜材料は、背後地への飛砂の防止や海岸環境への影響に配慮して、もともと存在した浜の構成材料と同様の粒径の養浜材料を用いた。</p> <p>・人工海浜(突堤・潜堤・養浜)の整備により、漂流ゴミが漂着しやすくなったため、地元と協力して対応している。</p>																																				
3・事業を巡る社会経済情勢等の変化		<p>・東日本大震災の経験から、住民や海浜公園利用者の安全を守るため、避難場所や避難路を示す看板等が整備された。</p> <p>・海浜公園の整備により、海岸に広いスペースが創出され、盆踊りなどの地域行事が行われるようになった。</p>																																				

4・県民の意見	<p>アンケート調査の結果（アンケート配布数：160部 回収数：120部 回収率：75%）</p> <p>【防護面】 人工海浜の整備により、「安心感が増した」、「どちらかという安心感が増した」が68%と防護面でも効果が実感されている。</p> <p>【環境面】 全体の87%の方が景観が「良くなった」・「どちらかといえば良くなった」と回答しているほか、景観が「悪くなった」「どちらかといえば悪くなった」と回答された方の47%（全体の6%）は「利便性を高めるためにはやむを得ない」回答されていることから、人工海浜は、環境面でも一定の評価を得ているといえる。</p> <p>【利用面】 散歩、散策、夕涼みなどによる利用が多い。 6%の方がほぼ毎日利用されているほか、32%の方が週1回以上利用している。</p> <p>【総括】 全体の満足度としては84%の方が「満足」・「どちらかと言えば満足」と回答している。そのうち34%が「災害に対する安心感が高まった」、20%が「海辺が利用しやすくなった」と回答しており、人工海浜の整備は一定の評価を得ているものといえる。一方、16%の方が「不満」、「どちらかという不満」と回答しており、そのうち35%（全体の5%）が「計画に住民の意見が反映されていない」と回答していることから、住民とのさらに踏み込んだ合意形成が課題として残されていると考えられる。</p>
5・再評価の経緯	<p>◆前回(平成17年度)の事業評価では、多くの議論がなされた結果、下記2点の指摘がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業は、当初計画時点において類似海岸の利用状況や水質変化予測及び糾合性を踏まえた利用者予測などが行なわれておらず、事業の効果予測が欠けていたと思われる。したがって、今後、あらたに同種の計画をされる場合には、事業完了後のマイナス効果も予測して、それを回避するような計画に努められたい。</li> <li>・事業後、効果を発揮し続けられるように事業中に地元自治体、地元住民と事業後の管理運営システム（清掃、イベントなど）の構築をされたい。</li> </ul>
6・今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の再評価での2点の意見を踏まえて、 ①利用者予測をより詳細に精査したうえで、事業効果を把握するとともに、海岸環境整備事業の効果を今後も発揮し続けられるように、今回実施したアンケート調査結果（指摘された課題等）を参考にしつつ、さらなる 利用促進を図る。</li> <li>②維持管理運営システムについては、海岸清掃や施設管理、イベント活用等を地元自治体、地元住民と連携し、実施していることから、今後もこのような維持管理体制が継続できるようにする。</li> </ul> <p>&lt;アンケートで指摘された主な課題&gt;</p> <p>【適切な利用の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政は整備した施設を広報して利用を推進するべき。</li> <li>・地域外利用者のマナーが悪くトラブルが多発している。</li> </ul> <p>【施設の維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が進む中、利用増加とともにゴミが増え、清掃等の維持管理負担が厳しくなっている。</li> </ul>

※再評価実施事業は(下段前回)とし、前回再評価時の内容を記載する。未実施の場合は(下段当初)とし、当初計画時の内容を記載する。

# 五ヶ所港海岸の位置図



# 概要図

## 事業計画



- ①突堤 (H8~H15) : 2基
- ②護岸改良 (H8~H19) : 延長320m
- ③人工海浜 (H8~H20) : 養浜22,400m<sup>2</sup>  
(42,020m<sup>3</sup>)
- ④潜堤 (H8~H19) : 延長163m
- ⑤遊歩道 (H8~H21) : 延長320m
- ⑥植栽 (H21) : 面積1,660m<sup>2</sup>
- ⑦休憩施設 (H21) : 1棟

全体事業費：14億500万円

## 断面図



## 整備状況

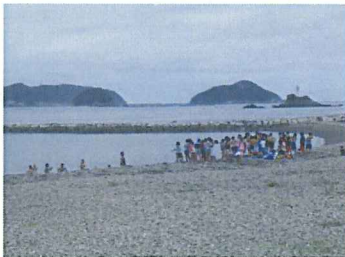


整備前



整備後

## 利用状況



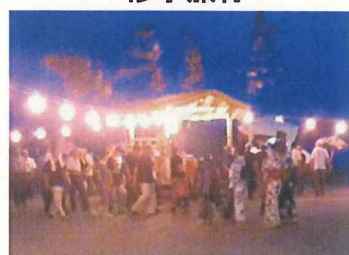
海水浴



修学旅行



休憩



盆踊り